

教育事業名「ユース オブ ワールド」

★事業の概要★

事業のねらい

日本の青少年と諸外国の青少年が国立大雪青少年交流の家の地域特性を生かした自然体験や文化体験，生活体験をとおして交流することで，自国や他国の文化，伝統等について理解を深め，異なる文化や生活習慣を持つ人々と協調して生きていく態度を培い，グローバルな視点を備えた人材の育成を図る。

期 日

平成25年9月28日（土）～ 9月29日（日）

会 場

国立大雪青少年交流の家

対 象 者

日本の青少年（高校生・大学生）・留学生・A L T ・国際交流員

参加者数：参加募集人数

20名（参加者内訳：日本の青少年10名，留学生・A L T ・国際交流員10名）：
20名（参加募集内訳：日本の青少年10名，留学生・A L T ・国際交流員10名）

講 師

美瑛町お茶を楽しむ会

日 程

| | 7:15 | 7:30 | 8:00 | 9:00 | 11:40 | 12:00 | 13:00 | 13:30 | 14:00 | 15:30 | 16:30 | 21:00 | 22:30 |
|-------------|--------------|------|----------|----------------|-------|-----------------|--------------|------------------|---------------------|------------------|-------|-------|-------|
| 9/28 (土) | | | | | 受付 | オープニング セレモニー | ①国際交流 タイム | 入浴 シャワー 休憩 | ②クッキング& パーティータイム | 入浴 シャワー 休憩 | | | |
| 9/29 (日) | ③さわやか タイム | 朝食 | 自然 散策 | ④日本文化体験 タイム | 閉会式 | 解散 | 送迎バス 出発 | | | | | | |

★プログラム紹介★



「国際交流タイム」

アイスブレイクで緊張を和らげ、キンボールで言語の壁を越えた交流を図り、参加者間の距離を縮めた。



「クッキング」

協働で世界各国の料理を作り、多様な食文化があることを学んだ。



「パーティータイム」

料理を囲みリラックスした雰囲気の中、他国や自国の生活文化や習慣・風習について理解を深めた。



「さわやかタイム」

交流の家の朝のつどい及び日本のラジオ体操を英語版で行い、各国の取組の違いに気付いた。



「日本文化体験タイム」

日本の伝統文化である茶道を体験し、日本の文化が世界にどのように受け止められているかを学んだ。



「日本文化体験タイム」

交流をとおして、諸外国の伝統文化について理解を深めた。

企画・運営のポイント

体験活動をとおした国際交流ができるよう、協働作業を取り入れ、コミュニケーションを促すようなプログラムデザインとした。

また、高校生・大学生、外国人等が参加しやすいよう、低価格でゆとりをもった事業展開とした。

事業を終えて(成果と課題)

大学の国際交流センターや市町村ALITとネットワークの構築ができた。また、外国人を受け入れるにあたり、施設的环境を整えることもできた。

しかし、参加者の語学力に差があったため、申込の受付から当日の対応に至るまで通常より時間を要したことから、全職員が全参加者への支援ができるよう、スキルアップが必要である。

今後の方向性

「グローバル人材」の育成を目指し、大学の国際交流センターと青少年教育施設が連携して行う国際交流事業の実践・調査研究から、国際理解を深めるための効果的な青少年国際交流プログラムの開発を進めていく。

また、その成果を公立施設や市町村教育委員会へ普及啓発し、ナショナルセンターとしての役割を果たしていく。